

# ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム

## 学生革新企画提案書

企画名	HW マナー講座
代表者	氏名: 澤田 莉沙
	所属研究室・学年: 生命機能 近藤滋研 M1
	電子メール: muc030@fbs.osaka-u.ac.jp
計画立案メンバ1	氏名: 澤田 莉沙
	所属研究室・学年: 生命機能 近藤滋研 M1
	電子メール: muc030@fbs.osaka-u.ac.jp
計画立案メンバ2	氏名: 横田 将志
	所属研究室・学年: 生命機能 柳田研 M1
	電子メール: masa.yokot@gmail.com
計画立案メンバ3	氏名: 日浅 夏稀
	所属研究室・学年: 情報科学 清水研 M1
	電子メール: natsuki_hiasa@bio.eng.osaka-u.ac.jp
計画立案メンバ4	氏名:
	所属研究室・学年:
	電子メール:
計画立案メンバ5	氏名:
	所属研究室・学年:
	電子メール:

開催 場所	施設: 大阪大学 情報科学棟 B115
	住所: 〒565-0871 吹田市山田丘 1-5
	連絡先: <a href="http://www.humanware.osaka-u.ac.jp/access_contact/">http://www.humanware.osaka-u.ac.jp/access_contact/</a>
依頼 会社	会社名: 株式会社 HRJ
	住所: 〒650-0037 神戸市中央区明石町 18 番地 1 泰和ビル
	連絡先: <a href="http://www.hrj-p.com/">http://www.hrj-p.com/</a>
日程	2014年3月12日(水) 13:00 ~ 16:00
経費	総額: 126,000円 (内訳は別途見積書を添付)

#### 学生革新企画の目的

次世代のリーダーを担う人材を目指す者として、社会的なマナーを身につけることは重要である。今後、本プログラムの中でも、アウトリーチ活動やアドバイザリ委員会との交流などといった、社会と接する機会が増えていく中で、社会一般常識とされるマナーを学ぶことが履修生には必須となる。さらに、マナーの会得が、各々の研究室での活動や他のリーディングプログラムの学生との交流等、様々な場面でコミュニケーションの助けにもなると期待する。

本企画では、プロのマナー講師を招聘し、場に応じたシミュレーション演習を主としたマナー講座を受講する。講座という形式から、実技を取り入れた講習や疑問に思ったことをすぐに聞くことができる質疑応答を取り入れた内容となっており、独学では得られないような、実践に応じたスキルを学ぶ。

また、本プログラムの趣旨であるように、履修生が自発的に主体となって、自らの成長を促進させるための学生革新企画を計画していくといった流れを、より活性化する。

#### 学生革新企画で期待される収穫

1. 独学では得ることのできないような、実践に応じた社会的なマナースキルを学ぶ。
2. 基本的なマナースキルを学ぶことで、自分自身のマナーに自信がもてるようになる。例えば、社会と接する活動の中で、今までマナーが足りず失礼をしてしまうのではないかとといった不安に代わって、自分のマナーに自信がもてることにより、積極的に企業の方に挨拶をしに行くことができたり、講演会後の講演者に自らアプローチをしたりといった、柔軟な対応が可能となる。
3. 今後、学生主催の企画が増えていくきっかけとなる。

スケジュール

大阪大学 未来戦略機構 ヒューマンウェアイノベーション 博士課程プログラム	
	2014年3月12日
グローバルリーダー育成ビジネスマナー(基礎編)	担当講師 西村 望希 (株式会社HRJ)
授業のねらい	授業の進め方
専門力と汎用力を兼備し、他者を尊重し他者から尊敬され、国や組織を超えて社会を牽引する国際的なリーダーにふさわしい品格高いビジネスマナーを学ぶ。周囲に安心感・信頼感を与えられるマナーを身につけ、それを通じてリーダーとして人間力と倫理観を醸成する。	講義中心ではなく実践を多く取り入れ、リーダーに求められるビジネスマナーの基礎を心と体で習得する。またロールプレイングを行うことで理解を深め、様々な状況において俯瞰力とリーダーシップを発揮し、自信を持って対応できる応用力を身につける。
授業計画	
1. オリエンテーション (15分)	・授業のねらい
2. マナーの必要性・意義	
3. グローバルリーダーに求められるビジネスマナーとは？	
4. 第一印象の重要性	
5. グローバルリーダーに必要な信頼力をあげるための5ポイント	
①身だしなみ (10分)	・清潔感 ・調和 ・機能性 ・品格 ・TPOに応じた服装 ・身だしなみ相互チェックワーク
●非言語コミュニケーションワーク (5分)	非言語表現をコミュニケーションに積極的に使うスキルを体得する。
②表情 (10分)	信頼される表情とは 表情のマネジメント
③声(信頼される話し方)・言葉遣い (20分)	・発声・滑舌練習 ・スピード・間・トーンを活かし、明瞭かつ正確に伝える ・配慮ある言葉遣いと伝え方
④態度・立居振舞 (20分)	・姿勢 ・座り方 ・歩き方 ・お辞儀 ・物の授受(名刺交換)
休憩 (10分)	
⑤挨拶 (5分)	・挨拶とは ・返事について
6. グローバルリーダー挨拶コンテスト (15分)	グループに分かれ、発表し、フィードバックすることでリーダーにふさわしい信頼感と好印象を与える挨拶を体得する。
7. ビジネスコミュニケーションマナーアップ (20分)	相手に信頼感を与えるビジネスコミュニケーションスキル(電話・メール・文書)、食事の席でのマナーを体得する。
8. 席次 (10分)	席次の基本
9. シチュエーションワーク(来客対応・訪問・自己紹介) (30分)	来客対応・訪問・自己紹介のシチュエーション様々な状況を設定しロールプレイングで実践する。ただ正確に行うだけでなく、瞬時にいかに好印象を与え、信頼感を与えるかというリーダーに求められるレベルを目指す。 【シチュエーション1】研究室への来客対応 【シチュエーション2】企業訪問 【シチュエーション3】講演会後の演者への挨拶
まとめ・質疑応答 (10分)	

代表者・計画立案メンバが過去に開催した企画

実施年度	企画名 (参画者名)	実施内容
2013 年	Humanware Summer Camp 2013 (澤田 莉沙) (中西 惇也) (渡辺 美紀) (徳山 健斗) (中村 達哉)	履修生同士の交流と今後の融合研究を始めるきっかけを学ぶ目的のもと、二泊三日の合宿を行った。履修生の大半と 3 人の特任講師が参加をし、大いに盛り上がった。

